

ビーンボウリング

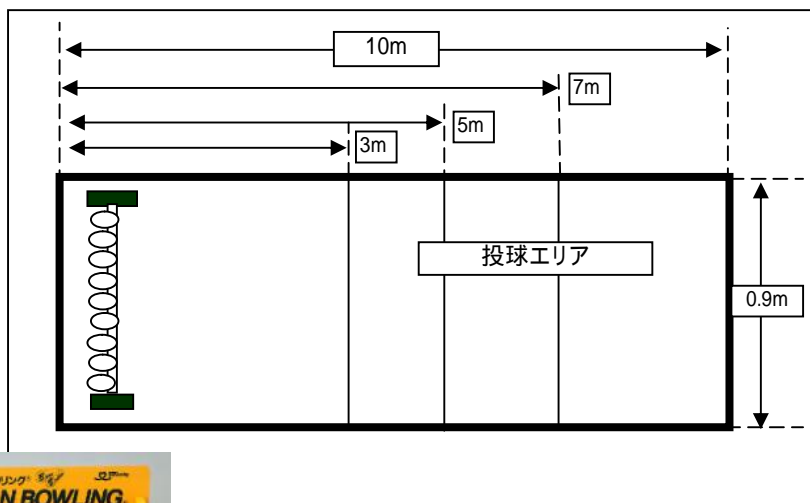
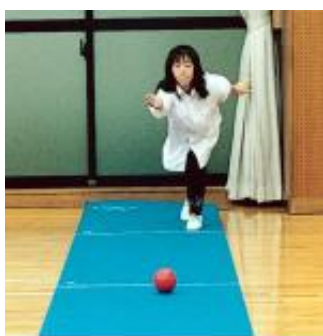
特徴

スコットランドで生まれたボウリングは900年の歴史があり、大型の室内ゲームですが、ビーンボウリングは、ピン配列を工夫し簡便化したものです。

その名のとおり、ピンにボールが当たると豆がはじけるようになっています。ボールを投げるコントロールやバランスを競うゲームで、体格・体力に関係なく誰もが楽しめるスポーツです。

コート大きさや使用する道具

ピンセット: 9本のピンがセット
ボール: 赤・白各2個



ルール・競技規則など

競技は、シングルス(1対1)、ダブルス(2対2)、団体戦(5対5)で行います。

ボールは決められたラインとそのひとつ後ろのラインの間で投球を行う。

投球ラインからピンまでの距離は、3m・5m・7mで、この3つのラインから3フレームずつ、合計9フレーム投げて1ゲームとする。(9フレームとも投球距離を同じにしてもよい)

プレイヤーは、ピンに向かってボールを2回投球し、反転したピンの数で得点を決める。ただし、反転したピンがリバウンドして戻った場合は、得点として加算されない。

9本のピンのうち、中央にある無表示のピンは「ストライクピン」と呼び、最初の投球で反転した場合は20点(ストライク)となる。また、2投目でストライクピンが反転した場合はスペアとなり10点となる。

したがって、1投目にストライクピンが反転し、2投目に5の表示ピンが反転した場合は、「ストライク20点 + 5点ピン = 25点」となる。

また、ボウリングとは違い、ストライクやスペアをとっても次のフレームには反映されない。

詳しい内容を知りたい場合

軽スポーツのススメ ホームページ: <http://www.nenrin.or.jp/nara/kawara/bean.html>